讃岐國名勝圖會

寒川郡 二

ル 4
270
2

門ル呂4
請270
巻2

讃岐國名勝圖會巻之二目録

寒川郡

郷名
八剱大明神
妙見社
西村城跡
西義寺
天満宮
阿弥陀寺
梅林
八幡宮
布勢神社
天王社
土産
鶴城天社
六車城跡
山王權現
王子權現
大獅
末風呂
荒藝明神
八幡宮
德勝寺
息遊庵
八幡宮
雨滝城跡
天内天
大井城跡
天王社
白蓮庵
權現社
八幡天
大明神社
愛宗社
大日庵
布覓寺
五葉堂
善樂寺
養寿寺
逆流川
お梅茶屋
山神社
十二社權現
山神社
山王權現
地蔵庵

无碍菴
碧水藏書

大義天神社
極楽寺跡
石田郷の塔
小倉寺
宝川古墳墓
寶圓寺
八幡宮
秀圓寺
稲荷社
舟石
蔵王権現
造間八幡宮
春日大明神
寒川清水
門入
小倉池
十三塚
寶蔵院
傳西寺
神西院
長尾寺
大師堂
法華寺社
多和神社
大窪寺
山神社
大社大明神
諏訪大明神
八幡宮
光明寺
上醍醐寺
長尾郷
渡辺友右衛門墓
柳乃清水
八幡池
天満宮
石田城跡
下醍醐寺
古戦場
日宅跡
大楽原
池内城跡
西蓮寺
蓮華城跡
若女神社
春日大明神
地蔵堂
圓光寺

首切地蔵
今嶽権現
鵜羽石
浄土寺
常楽場
十三塚
天満宮
神崎の神社
辨才天社
新宋
長福寺
渡の淵
まろう権現
山王権現
神明宮
天満宮
鵜羽村
雲原
等利寺
稚子社
天満宮
山王権現
神前城跡
法蔵池跡
観音堂
蓮住寺
鵜羽郷
辨才天社
大長大明神
津田村
梁林碑
光西寺
紀吉堂
八幡宮
春日社
浄蓮菴
佛の宮
八幡宮
鵜羽林跡
鵜羽明神
祇園社
大山八幡宮
八幡宮
加茂大明神
実相寺
津田山古墳
宝善寺
業師堂
志多伎神社
業師堂
西光寺
西方寺

大串山牧馬　叙書重　宮神社　馬蹄撥況
志度浦　志度浦合戦　動　石　十二年雲
當郡風俗　ぼうの剛　極楽大明神
志度寺　本堂　拾侍堂　貴堂　海人墓　結寺社　国通寺　自性院
普門院　辯才天社　志度城跡　姪子社
稲荷の社　梅宮　道祖神　運照庵
地蔵寺　蛭巫女　真覚寺　東林寺
志度大宮　山王信尼　祢采部　祢宜屋　室義　随身門　蜜芝寺　観音寺　十三重塔　御霊殿　浪打寺
伊勢太明神　九尾八幡宮　天満宮　疑宝庵
亀甲山　見松葬　法寺明神　美宮八幡宮
韓鐵師脇坐毛人　韓鐵師の牛養　凡亜千継
仏婆の首牛養　讃岐石永亜

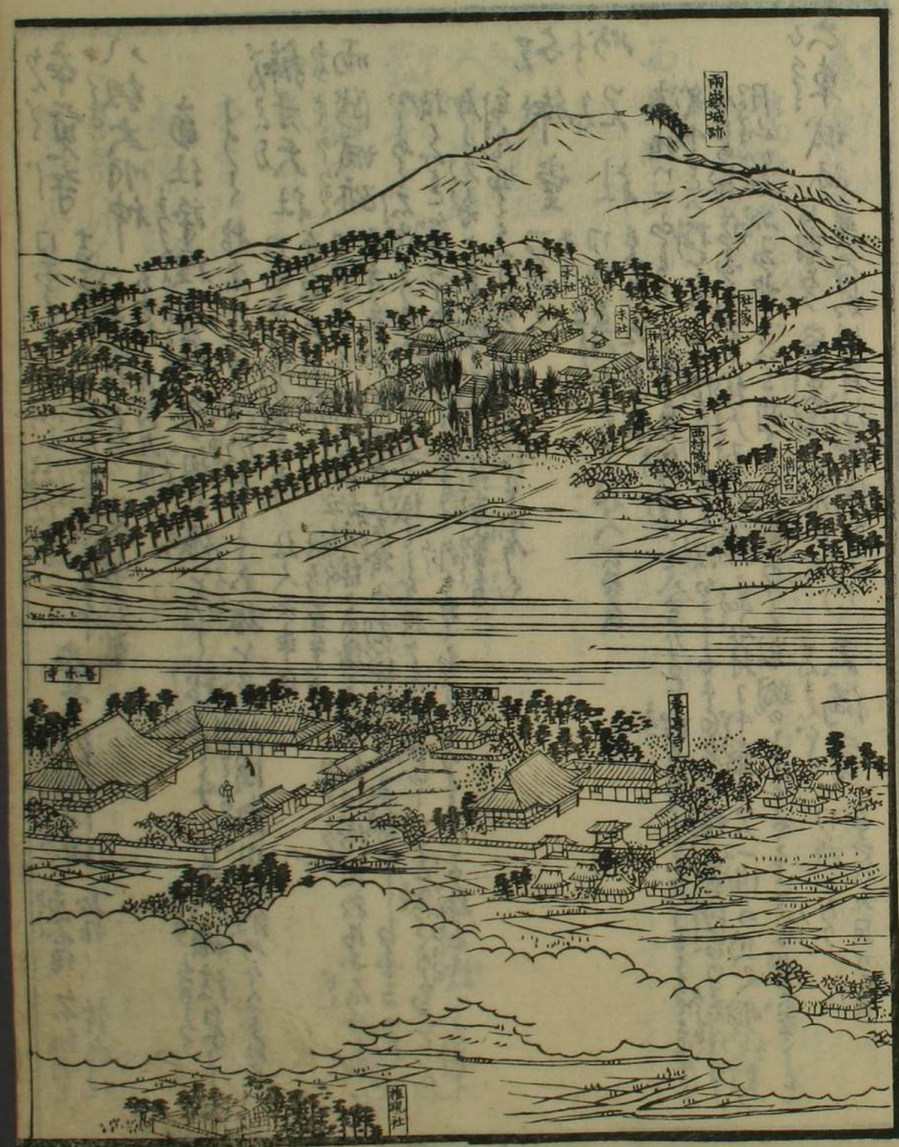
讃岐國名勝圖會巻之二

寒川郡

東へ大内郡接し南へ阿波に境し北へ海を限り西へ三木郡に隣る

○郷名　富田　和名抄作雑波一富田の村　日中村　日東村　田面　南川
石田　石田　東村　長尾　長尾村　長尾名村　造田
鴨部　鴨部村　神前　神前村　鴨部　東山村　下原村　中部村　小田村
志度　和名抄作多知　志度村　末東村　日西村

○土産　山椒　山椒　鰤魚　柳陰水　松葉　日本　新米　祢宜村
兎　日本　柏良山　海鹽　海鹽山　蓼　防風　金剛砂　松葉　津田村
海苔　海苔村　蕨　蕨山　塩蓮　海松布　薄治　珠数　こと
陶器　志度村　烟草　烟草村　貝　石山村
八幡宮　富岡中村にあり　社人宮東氏　社領本多八尺ナ石　末社　松尾大明神　菊師堂　並に境内にあり
当社は貞観年中の創建なり　永禄年中
白滝城を安富又三郎再興せり


雨瀧城跡
社家
寺地
西村城跡
天神山
善樂寺
雨瀧社

冨田八幡宮
本覺寺
八劔明神
西敎寺
養專寺
善樂寺
雨瀧城跡
西村城跡
旭屋照好
鳳岳
西敎寺
八劔明神
安白山
十
稲荷

本願寺　同所にあり　大門の彫刻未寺　本堂の彫刻　薬師像　石動明王　松作　法華堂　仕作年代未詳

八幡大明神　九月九日

南社　諸種未詳　今廃して跡のみあり　社人　六車氏

鶴岡天社　同所中村にあり　九月七日　社人　本寺

雨降城跡　同所にあり　元亨元年の築　相模寺　今廃して跡のみあり　細川治元和元年の築　同所城跡

南地　一　幾千　この地　七八寸なる土埋めあり　社人　六車氏

天神堂　同所にあり

八幡社　九月十日

六車城　同所にあり　元亨元年の築　○　天満宮　同所にあり　九月廿六日

善楽寺　同所にあり　本堂の彫刻　薬師像　石動明王　井作　法華堂

高寺八幡宮　一名東光寺　正長元年の建　天正十二年兵火に焼失　今の本堂は慶長三年の建　再興せり

西村城跡　同村にあり　又八郎貞泉の居城　天正十二年兵火に焼失

山王権現　同所にあり

大井城跡　同所にあり　同国住人　大井氏の居城　天正十二年兵火に焼失

善寺　同所にあり　一名東光寺　奥州の名僧　二十年の建　本堂の彫刻　薬師像

南寺　同所にあり　本寺　大日如来　大師像　法華堂

西教寺　同所にあり　本寺　虎の作　法華堂

本堂の彫刻　薬師像　大師像　法華堂　仕作　天満宮

奥院　西の方にあり　弘法大師の作　十二神将　石動明王

南寺八幡宮　弘法大師の作　天正年中兵火にかかりて後世門

経行 は本国の中本二基あり
二年と明和元丙子天許願
西あらの山つくりなれもつくり

王子権現 則画村本あり社傳は
毎年九月十八日

天王社 は本あり社傳は上
毎年九月八日

逆流川 は本あり此国南方地高く川高く共ながら
毎年九月廿八日

天満宮 は本あり 社人古本氏

大御 は此の所乃のくらくあるを我邦え取の傳ひ食なく
毎年九月廿六日 社傳本文

白蓮菴 は本あり
社家 毎年三月十五日

当菴 は寛文年中一宗
弘法大師作

お梅茶屋 は別所岩坂口にあり此所は加賀浦より金剛山登路の茶屋の
毎年中のことなりがけ茶屋中にあり 御絵図にて此本の絵
文政年間 御絵図にて此本の絵

阿弥陀寺 日所にあり東近山法華院

本尊の阿弥陀如来 大隈二郡 不動尊 地蔵尊 観音像 地蔵尊 大師像

薬師堂 天 九月十二日修法あり

観音寺 寺号未詳 天正十一年の云々 我が氏祝 所彼明 大宮

山を隔て山麓に陣し天皇の西幸と聞く 幸神 ときどき出でて焼き出す 再建せり

青木氏 呂田 日所にあり 出雲国

權祝社 南川村 一の鳥居あり 社人六車氏

梅林 日所にあり 梅林 梅林 梅林 梅林 社人六車氏

荒神 日所 九月十六日 社人六車氏

南社 摩訶 社名 出雲の森にて大社なりしが慈仁の東 法国

与礼のときに破壊し再興 文明 年中 社殿 再興の

後国大友の二殺 神宿あり 社殿 再興の

半七 氏 行 田地 石 田地

国中 年 争戦の人 迫 年 出征 もうちつづき費 又 ぶんぶん

○山神社 日西大夫 社人 日上 九月十九日

[illegible]

八幡宮　[illegible]八月十八日　菅神社　[illegible]

南社は南村の氏なり　南田村八幡宮氏なるなりが[illegible]月十八日

[illegible]

○山神社　[illegible]九月[illegible]日

又明村より[illegible]

[illegible]

布勢神社　石田西村[illegible]　社人[illegible]氏　延喜式二十[illegible]の一

[illegible]九月九日　社領小[illegible]

○十二社権現　日所大橋[illegible]　社人社領日上

[illegible]　坂上道啓

徳勝寺　日所[illegible]　一向宗　[illegible]

本尊阿弥陀如来　安阿弥作　同小佛　[illegible]

南寺は沙門[illegible]初[illegible]二年九月十八日布勢の社[illegible]

[illegible]元年布勢社の[illegible]

[illegible]

寶物　経石一字　[illegible]　[illegible]

連如上人画像　[illegible]

[illegible]

○山王権現　日所[illegible]

○天王社　日所天王

息遊庵　日所[illegible]

本尊[illegible]　[illegible]寺末庵

南庵は[illegible]永[illegible]年の[illegible]創なり

大日庵　日所[illegible]

○地蔵庵　日所[illegible]

杉迴庵
久雄
石田寺
八幡宮
いつ川
大筑紫神社
明人
光明寺
石田城跡

延喜式内
日
布勢神社
大筑紫彦神社
八幡宮
愛宕社
天滿宮
德勝寺
光明寺
石田城跡
小倉
下関
三

大義度神社　日西南村墓ふあり社人横村氏社傳ふ安寺　延喜式二十四座の
　　九月八日　土人大明神と云
　　赤神　赤蘆崎宮
南社　肇種寺伴宮文七年再興せり社左の方山あり
　　邦内二十四社諸記　坂上道啓
　　天ノ下　名ふなり早魃のとき此社あるゆふ南郡の名ありと云
寒川清水　かゝるもめつらしき川もまた郷の名ゆかり春ふきふく　まゝ人
八幡宮　日野ふあり社人横村氏　本地堂　行基作
　　五月九月廿日　社行　山金堂　秘蔵
南社の藤年六年八月　奥羽院ゆ海法印勅使なり　忽氏十
年八月　細川家より修造　大正年中三度かゝり長廿七年再興
天満宮　日記ふ
極楽寺跡　日野ふあり　長尾宮義隆の　○門入　日ふ花樹寺二ヶ所
　　日記ふあり　一句ふ　此所赤宮寺末寺　本堂　行基作　阿弥陀堂
光明寺　南寺ハ明暦年中ゆつ西宮寺の刻ふ

石田城跡　日ふあり出羽守光俊　天正十一年
　　長郡家紀国南郡忠信故領足郡西方尾乃郷を中院源内将宣平郡石
の注高約某ふ居ふ天正年中一家太谷惣長谷の三男左衛門尉家
ふ人始ふ居ふ南ふ紀へのとき住ふ
て家ふ居住せり主後半家多紀長国ふ云ふ小西摂津守行長
紀長国ふ云ふ小西摂津守行長
家代ふ年小西家滅亡のとき住
加藤家ふ仕へ居ふ
ふ家も又ふ退転
住ふ便り居ふ
の地ふ連絡ふ
今の長田ふ古ふハ住ふ湯ふ注高
へまの年ふ絶ずとぞ

石田国弘の話

天正年中の変なるゆふ石田左衛門尉弘とふ人帝釈の人あゝ云ふ長宗
我部元親の云ふゝとき武功と紀国弘とふ人十三歳のとき
夢ふ日所の八幡宮射ふ

紀ノ文孫元年十二月十八日國弘山ノ[illegible]光姫乃[illegible]様ノ[illegible]
大ノ[illegible]を抱ク[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]を姫石ノ[illegible]
山の尾ノ[illegible]ノ二[illegible]修ノ[illegible]ノ[illegible]
せ[illegible]年ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]
の後ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]
なり妻ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]
元親ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]
[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]

小倉寺 [illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]
[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]

上醍醐寺 [illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]
[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]
[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]

○下醍醐寺 [illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]
[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]

小倉寺 [illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]
[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]

石動寺 [illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]
[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]

寺記曰天平七年行基菩薩山花ふ基して某師の像をほり
一ちゝと造く安置す人皆と崇の基師と人延暦十九年弘法大師
前の名称乃弥ちとうく石動長所門乃二像を刻し祭生ちゝ
ちゝと俗造なりろう大同年中山火あり焼亡
承和十三年二月良峯安世南山すあり寺宇を建今のち寺を改め
峯の系師とつゝかゝ布ちと子京親年中ちる僧広遍無る南山
苏ち安世の生孫と敬じ板の小板と彩くうたおちゝ和ちと法せろ
ちゝるやさゝむくナ死の中ちゝふつて老さゝ小会ちゝ

此板ちゝ春ゝく枝系整ゝ七ちゝ乃ぐち天正年中童ゝ
かゝゝうあ絵ぐす焼失ちと子ち年再興せろ

十三塚

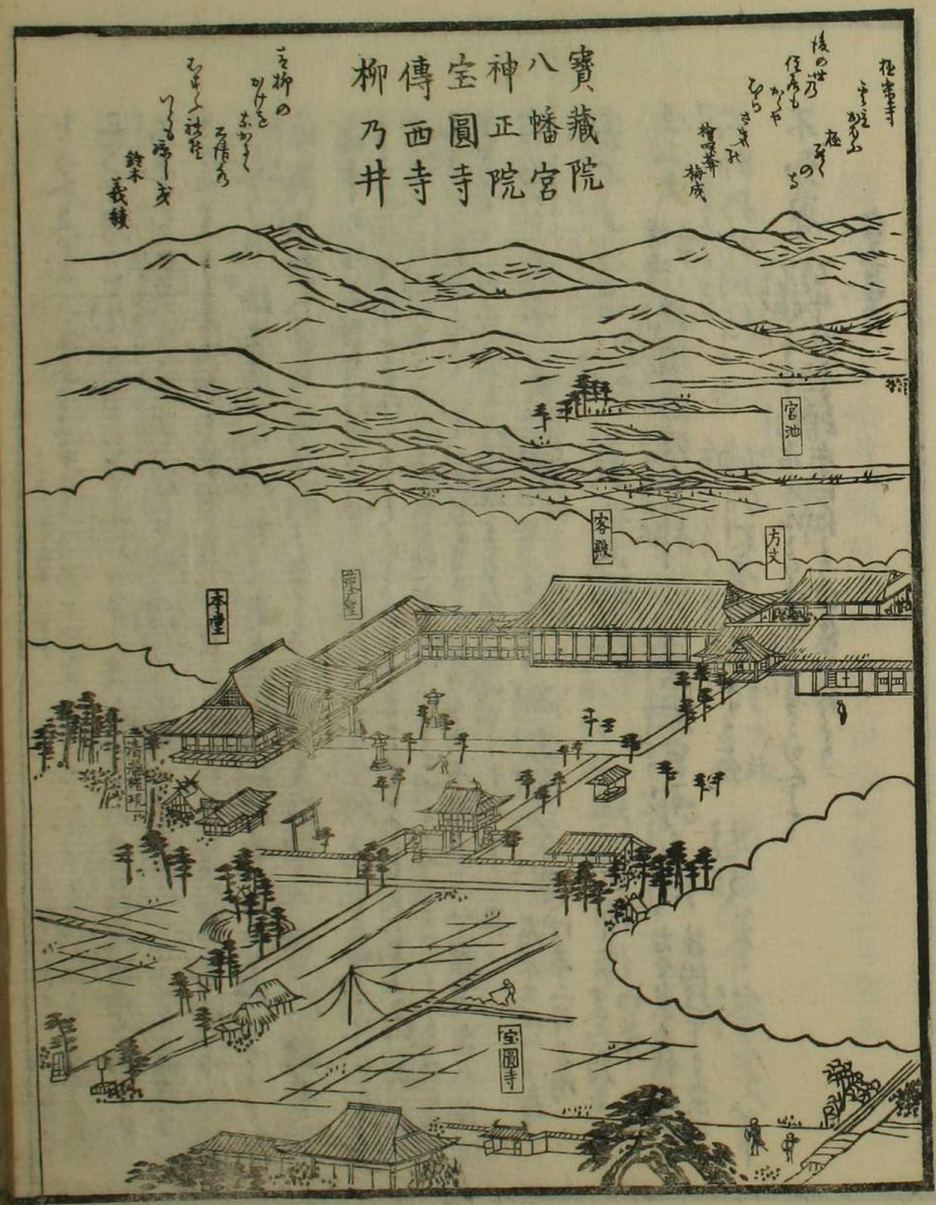
日村ちあり此数南山津田村川原村畑田村ちゝ弘ちゝ
数ちと年あり長ふちゝ造ゝちゝんう又ハ
王十三ちと数ちゝ父母の子ちゝのち三日ちう和ちゝ
名石の形修ち紀と彫ゝて貞の墓と数ちゝ
十三ちゝまぐ法事ちゝ
ふこ年ち七年ち十三年ち九十三ち数十三塚と築
ち七日七七日一周ち七七日一周ち
ち十二ち作ゝ作ゝ塚の
ちの十三ちの墓ち十三塚
此ちの墓ち多くあ
ち毎ちの数なゝ法墓の
ち多ゝ墓の山ち法山ちつゝ

長尾郷

此ちゝ郷ちゝ法墓ち
ち寺の名称

古戦場

長尾村ちあり
為戸の合戦ちあり
ちゝ川文屋の家人
ちゝ川氏ちあり
ちゝ川の四郎ちゝ
ちゝ川の四郎ちゝ
ちゝ川氏と
ちゝ川氏と
ちゝ川氏と


寶藏院
八幡宮
神宮院
宝圓寺
傳西寺
柳乃井
宮池
客殿
方丈
本堂
宝圓寺

八幡宮
傳西寺
柳乃井

播磨國津田地頭職可令知行之由依大塔宮二品親王
令旨執達如件
元弘三年五月九日

左少將
極樂寺

此余　出宗德天皇震翰仁王經ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付
末寺　法云寺　村こあり　祇光寺　日田中　けの余南彩寺る七ケ寺を称ス
法辺院与郎墓　日不西北ニ四里　○同　毛跡　日あり　今ハ奥彩院
ひ為法師ハ為ハ　ハ法の人ハ　ハ大師ハ　ハ法の人ハ　ハ法の人ハ
ハ法の人ハ　ハ法の人ハ　ハ法の人ハ　ハ法の人ハ　ハ法の人ハ
ハ法の人ハ　ハ法の人ハ　ハ法の人ハ　ハ法の人ハ　ハ法の人ハ

との人天文二年正月ニ法花経西と定め南ニ法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付
三ヶ寺を加へ七寺ハ称ス　元弘二年二月ニ元弘のくわ播磨国の守護を削
らまして　左馬頭安全高を補ス　建武二年ニ寺院ハ法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付
ぐらふ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ

法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付　法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付
法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付　法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付
法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付　法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付
法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付　法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付

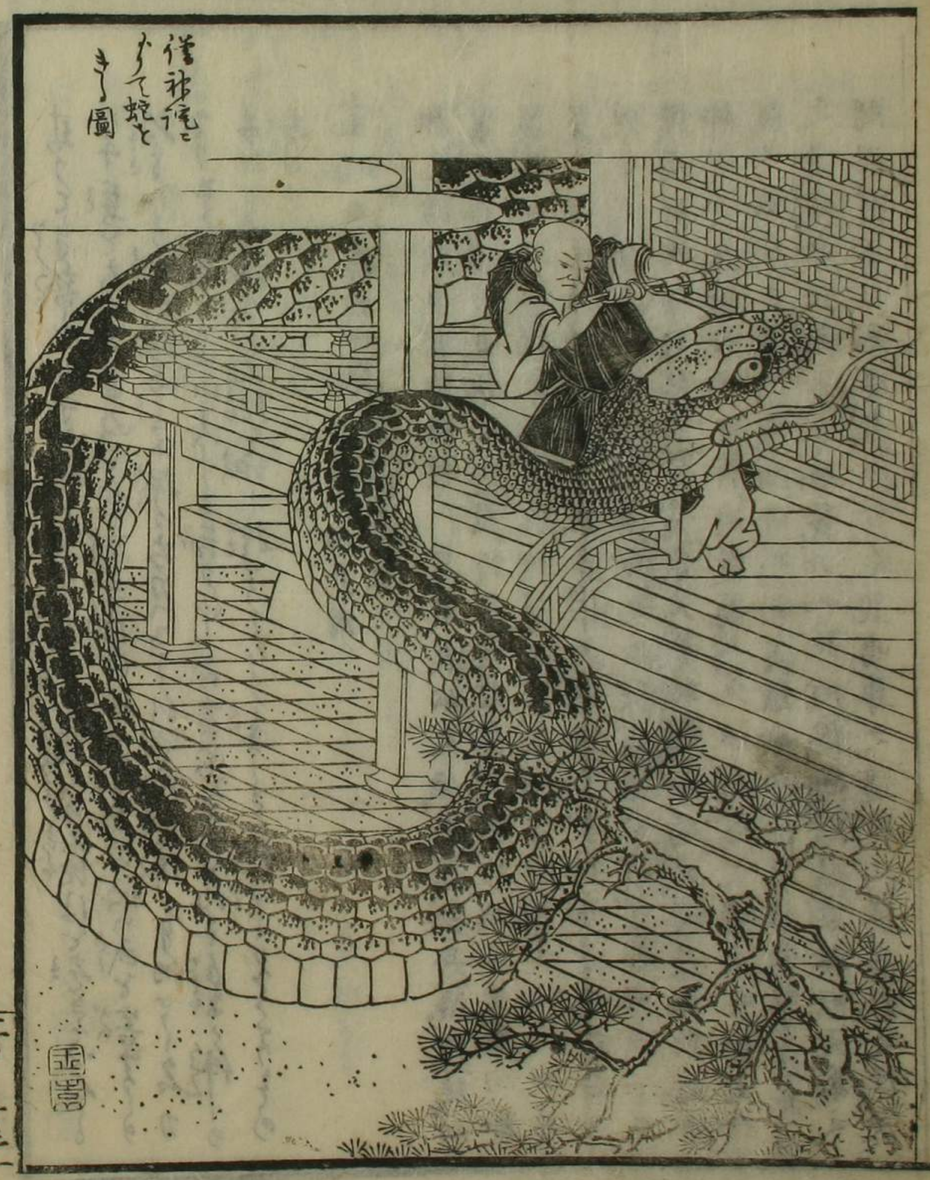
法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付　法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付
法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付　法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付
法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付　法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付
法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付　法花経ハ今ハ内のそ沙ましそ応保元年山長付

源英石沙入宝のうち　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ
南寺の住僧明石住ハ一時の祈願ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ
元年　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ
出ましひ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ
万里雲　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ

宝物　○　火水二天　二幅　巨勢金岡　雨夷曼荼羅　右ハ正治二年
釈迦五大尊　二幅　出釈迦大仏　僧伴僧正　弘法大師像　山井
十二天　僧伴　大般若経全部　東照宮御色紙　右ハ禁の歌源英石
大師行状図絵　四幅　楠河内寺正虎持一枚　淀殿筆　文禄元年
不動尊　乙井村金剛寺四幅　ひ絵をかく

今昔写

又事ヲ[illegible]男女[illegible]人ヲ[illegible]ヒ[illegible]ヒ[illegible]ヒ



中皆有此怪和漢所記載在正史安不得而信乎是知神物之顯
必於照代　天保六年龍集乙未仲冬穀旦　覓政典謹記　本藩老臣

神正院

日光山にあり　亀岡山法輪寺　我大覚寺宮　寺号
本尊　普賢延命尊　阿弥陀如来　弘法大師作　毘沙門天　国祖君源英公
薬師如来　霊験仏王　英公修禅作
高寺　永徳二年空遍上人竹釣なり　元禄二年堂ら大工紀氏
ひとりの仏像　富士の山の大力なりしかハ　関紀君源英公保くること
とあり　陣の山なる本尊なる弘法天の木像とたまふ
八幡池　日光にあり　貞治二年細川右馬頭満国の命にて
してはじめを築く　三月廿四日ふ立を起し　七月廿九日に沈なりしに人民化とし人
池内城跡　日光にあり　天慶の乱に平将門の城なり
本尊　弘法院寺　南にあり　○　秀衡寺　日光西村にあり　藤原秀衡の建立なり
長尾寺　日光にあり　補陀落山教学院　天台宗　元禄八年公命の上　八十七坊ハ
本尊　聖観音　士作　大師堂　護摩堂　○　法宇社　天満宮

四國八十番札所

長尾寺
西善寺
秀圓寺

千歳園松茶

寺記曰南ちハ天平十一年ハ癸卯丁亥朝臣天長二年ハ國の刺史良峰安世朝臣
と俗造して地名ハ[illegible]その号を改ひ文明年中長禄年中ハ一云
[illegible]再興ありひ天和年中 國花若狭長ハ寺とうく國中七観音の一ハ
[illegible]國名ハ峰ハ根来山屋敷ハ八葉ハ長谷ハ俗ひ[illegible]

宝物 ○ 額 龍宝院 龍足観音 通覚観音 大般若経 十六善神
普門品 紺紙金泥 [illegible] 七條御袈裟 [illegible] 神鉢 [illegible] 善神像 御自筆 [illegible]
経筒二基 日安つ和

経筒之図

元亨サ一丈斗

人ヲ一基落日

知安六年九月大願主 [illegible]

知安六年歳次癸未十月日

西善寺 日所ハ[illegible]持山[illegible]寺 [illegible]寺未寺
一向宗 [illegible]

中尊阿弥陀如来 安阿弥作 日小像 [illegible]
不動明王 仏名光明寺
寺記曰南寺ハ天長年中大師[illegible]

光明寺ハ[illegible]
[illegible]
その[illegible]
中ハ[illegible]
造営なしとう

稲荷社 日殿西[illegible]社[illegible]
美和神社 [illegible]九月[illegible]日 [illegible]村[illegible]田尾[illegible]
延喜式二十四社の之

祭神 大己貴命 大国々根之命
或云 秋津姫命
南社 峰神 [illegible] 中社 [illegible]
の社あり 且地名を[illegible]田尾とハ[illegible]
を御補しとう[illegible]
[illegible]

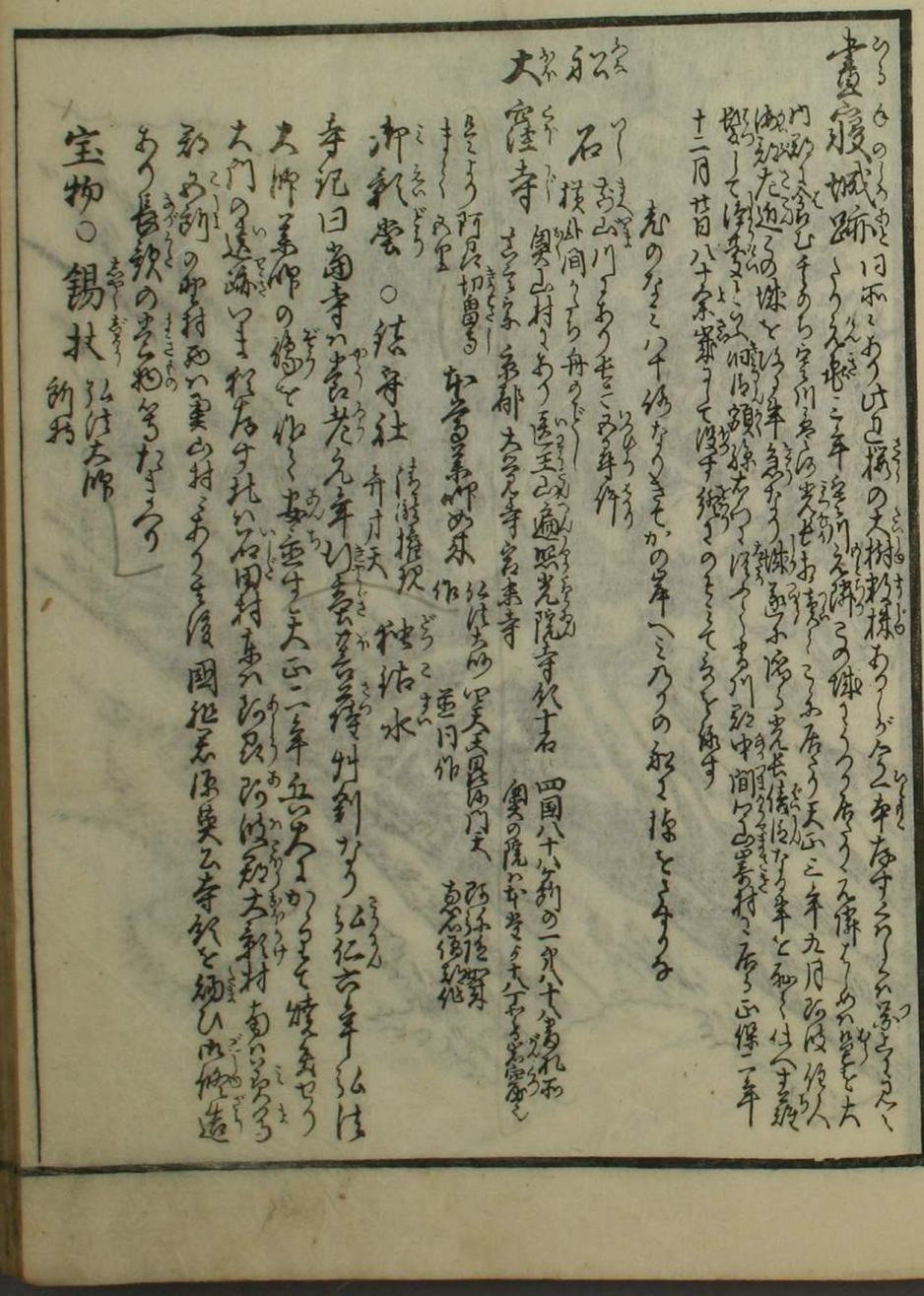
三代実録云 貞観十八年授讃岐国従五位下多和神従五位上
[illegible]

飛揚瀧 日所ハ[illegible]人
[illegible]

坂上道啓

延喜式内

多和神社



壹度城跡 日本こあり此山横の大樹数株あり此山に城こ年在りしの事なり

門前こ合戦千あり宇川弓の実は[illegible]

[illegible]

十二月廿日八十余騎寄せて浮手繰さのとき[illegible]

[illegible]

石仏 山川こあり[illegible]

大窪寺 奥の山村こあり医王山遍照光院寺号東寺

四国八十八箇の一番八十八箇所の内

[illegible]

御新堂 ○結寺社 [illegible]

寺記曰南寺は[illegible]

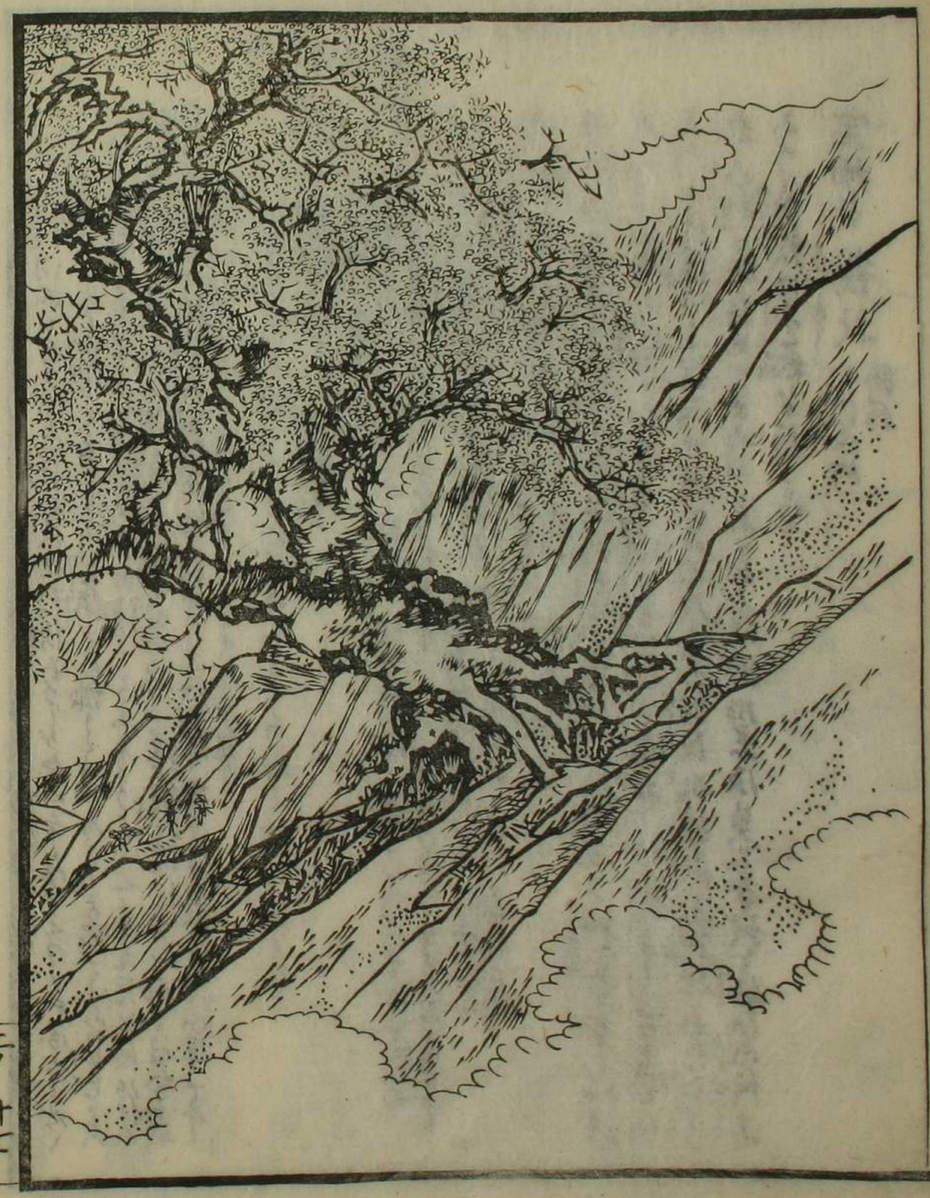
大師堂の後こ[illegible]

大門の[illegible]

[illegible]

[illegible]

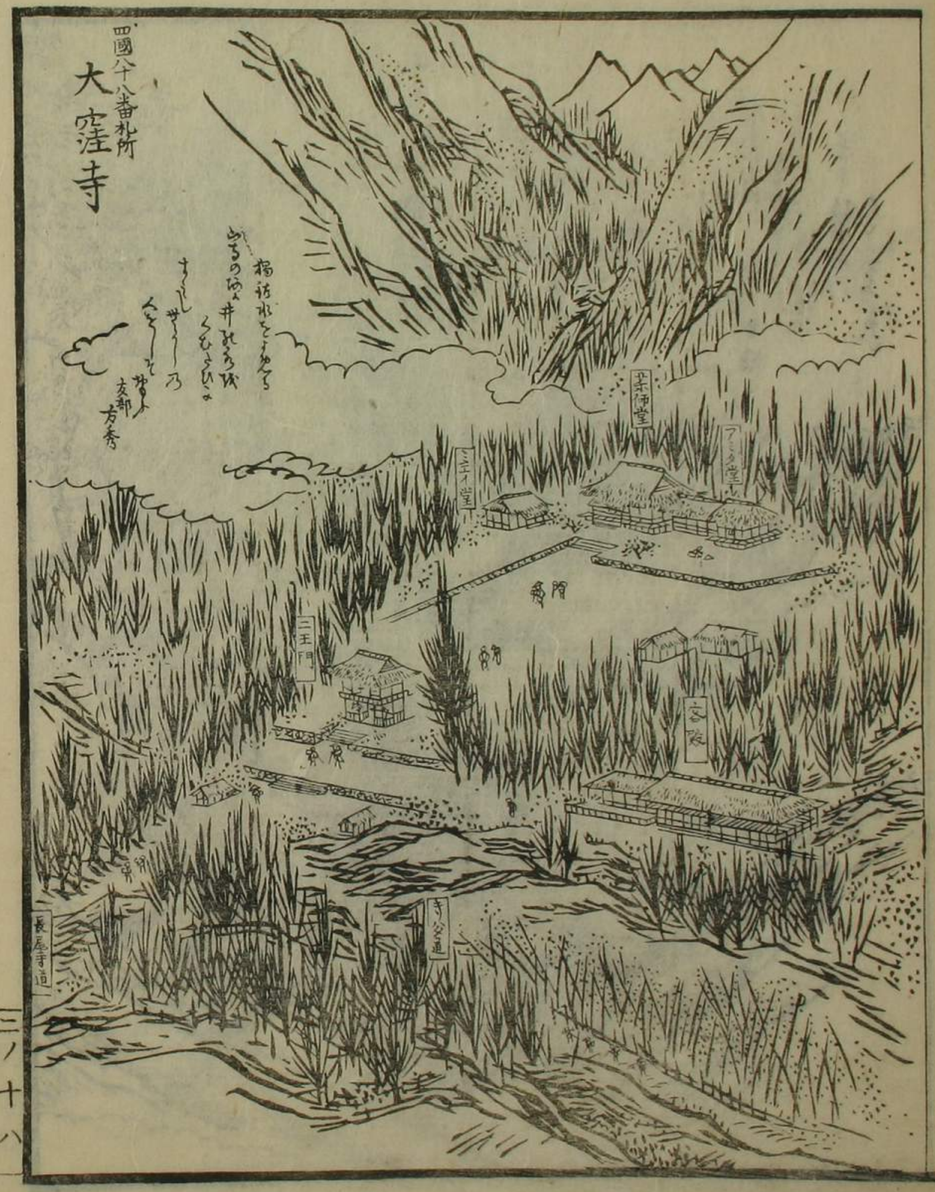
宝物 ○錫杖 弘法大師所形



晝寢櫻
元禄三年東叡十六間余
瓊瑤粧點白屋顔
欲到花邊難可攀
知是僊妃絶塵俗
春光牢鎖在深山
久寥朗
江口喜晴

四國分十八番札所

大窪寺



佛法僧鳥　日記奥山ニ

夫木集　わくらはの長谷の底なる佛の法僧鳥　慈鎮

日　とりなれぬもとのみなくと中なるは法山の春の明方の空　家隆卿

日　ふきなれぬ法山の春の明方の空　寂蓮法師

善女龍王社　○藏王權現　○山神社　並日吳

奥山絨かくる石像を經て沢村に入る日記より橡谷拜米村に

とゝ谷基路なり日記法谷より米村に入る陸岩入口なり

路平夷なり

天滿宮　三西村にあり社人三好氏　○春日大明神　日記にあり社人日上

九月廿日　九月廿七日

造田八幡宮　九月廿日　村にあり

當社は仁和二年の勧請なり

大社大明神　日記にあり社人日上　松尾神　素盞嗚命

願與寺　日記にあり法華山燈明院末寺　本尊藥師如來　法寿社　三宝荒神

佛法僧鳥

一名三寶鳥と云高野山日光比叡松尾及諸國山中に產に雄雌乃如啼一名ブツポウとも喫佛菊の文仏法僧鳥の鳴やう仏法とやかふ二聲三聲あきら後ひきく僧と云ふ也夜ふ啼

上田秋成の說に深夜特よブツハニ〳〵と云〳〵

天明二年五月高野山にて捕へ一八此圖ハ一羽〳〵足あり

此鳥二種ありて大さかく鳥の如し天明四年四月豫州板嶋郡山村村雲捕へ一ツ寫真せり一羽ハ一ツ足あり

後夜聞佛法僧鳥

閑林獨坐草堂曉三室之聲
聞一鳥一鳥有聲人有心聲
心雲水俱了了

釈空海

當寺ハ天長七年正月沙門徽安菩創なり

地藏堂 日ぶ[illegible]あり
[illegible]
春日大明神 乙井村にあり社人[illegible]氏
[illegible]九月廿七日

諏訪大明神 日ぶ[illegible]あり社人日上 [illegible]天なる
[illegible]八月廿七日
[illegible]の[illegible]の位なり[illegible]

不動菴 日ぶ[illegible]あり[illegible]
[illegible]光寺末菴

南麓ハ[illegible]寺と[illegible]

圓光寺 [illegible]村にあり[illegible]山[illegible]院
[illegible]寺

本尊 十一面觀音 法寺社 [illegible]明神
[illegible]寺[illegible]年中[illegible]門[illegible]堂宇を修造す明治[illegible]

[illegible]の寺[illegible]

首切地藏 日[illegible]井[illegible]
[illegible]

[illegible]九月九日

鶴羽郷　[illegible]

鶴羽明神　[illegible]羽村の[illegible]明神の[illegible]下[illegible]あり　社人二[illegible]氏

[illegible]神　日本武尊　[illegible]

南社地　[illegible]海[illegible]の[illegible]なり　進[illegible]海理て今の[illegible]の東あり　日本

武尊の神[illegible]白[illegible]小化[illegible]南国[illegible]の神[illegible]け[illegible]の[illegible]の[illegible]

今の白[illegible]の社地へ[illegible]羽明神とあ[illegible]

[illegible]の[illegible]通村の[illegible]け[illegible]神を仰

[illegible]津田八幡宮の氏[illegible]鶴羽郷の

名乃[illegible]神の[illegible]

鶴羽の大神乃[illegible]

鶴の羽乃[illegible]

今嶽権現　日本中[illegible]あり　社人日上　○神明宮　社人日上

[illegible]

辨才天社　日本[illegible]あり　社僧法[illegible]

[illegible]九月[illegible]日　[illegible]三月三日

祇園社　日本[illegible]あり　社人日上　○鶴羽石　日本[illegible]

[illegible]六月六日　[illegible]造[illegible]

天満宮　日本[illegible]あり　社人日上　未社　十二社

[illegible]九月廿六日　大雲大明神　神体[illegible]像　古物

大山八幡宮　日本[illegible]あり　社人日上　社僧[illegible]場

[illegible]八月十[illegible]日　南社は津田八幡宮の[illegible]なり

津田寺　日本[illegible]あり　[illegible]月[illegible]虚空[illegible]

本尊[illegible]観音　[illegible]　地蔵尊　不動尊

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

南寺　[illegible]　天山明[illegible]寺号大[illegible]経[illegible]

鶴羽浦　[illegible]竹島[illegible]

津田村　[illegible]所田村[illegible]村[illegible]

八幡宮　日本[illegible]　社人[illegible]氏　社僧[illegible]場　末社十[illegible]

[illegible]八月十六日　[illegible]

南社は[illegible]和年中[illegible]なり　天[illegible]年中[illegible]文[illegible]年中再[illegible]

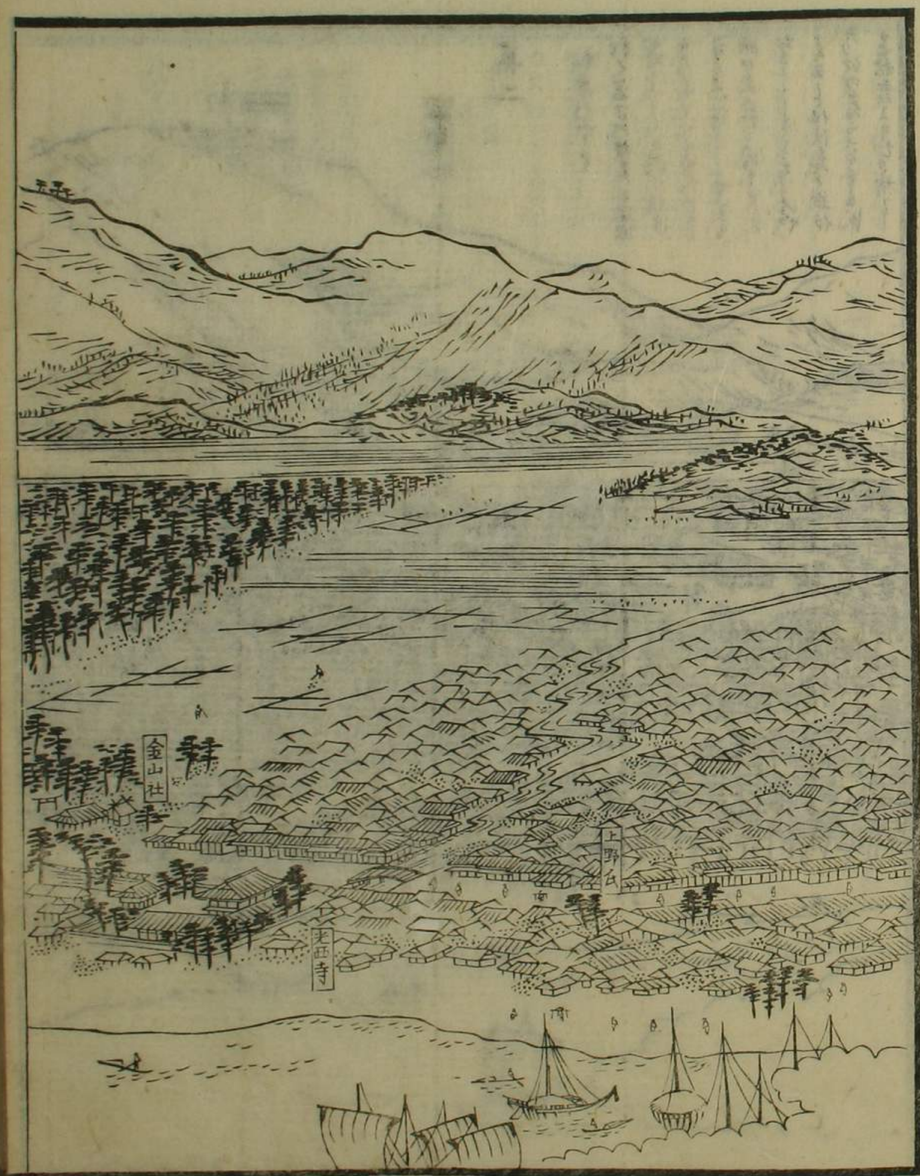
常楽坊　日本[illegible]あり　[illegible]山延[illegible]僧　本尊[illegible]観音　聖観音　[illegible]

[illegible]仁和寺[illegible]本[illegible]　[illegible]

南寺は行基[illegible]剣なり

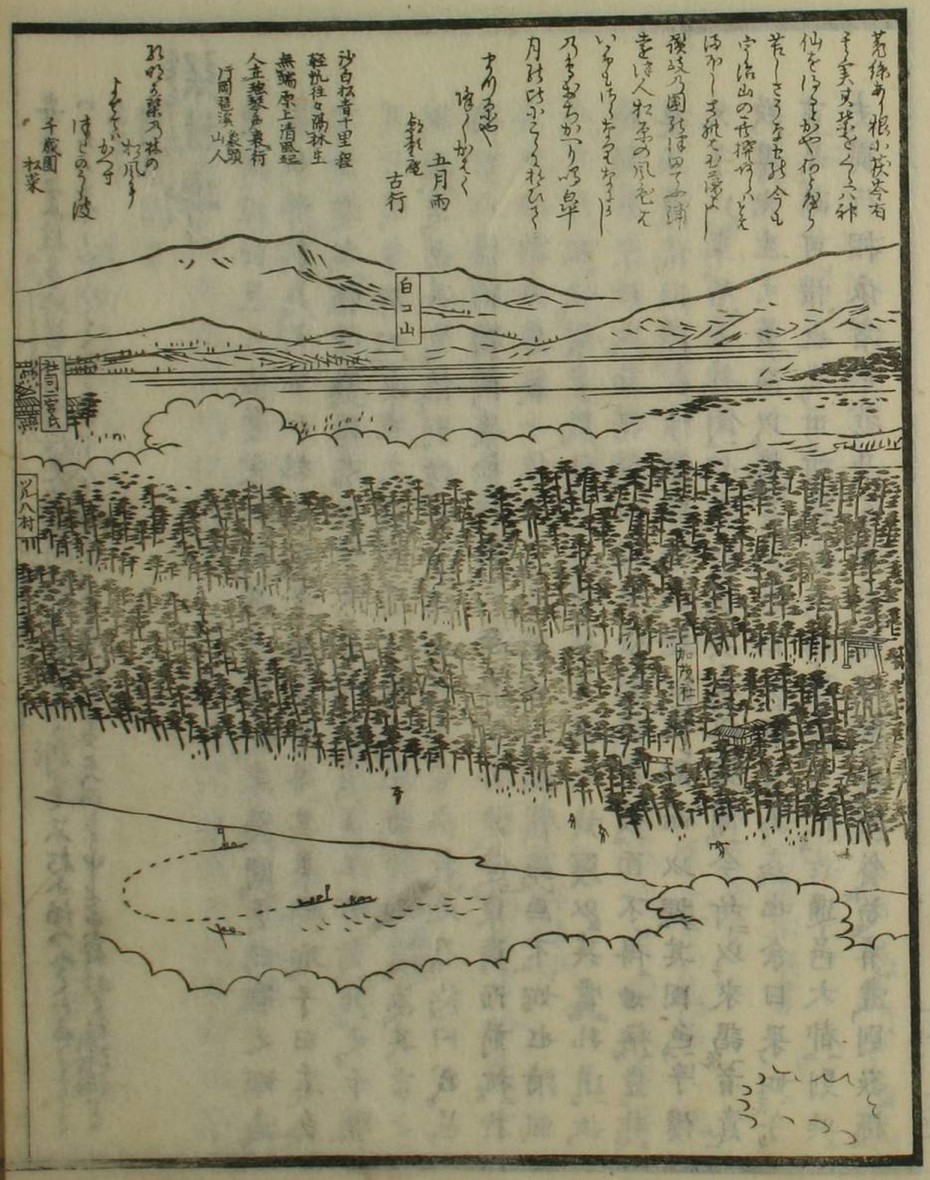
宝物　聖観音　[illegible]筆　荒神像　[illegible]作　十二天　[illegible]作　四[illegible]

松原　日本[illegible]八幡[illegible]山[illegible]


金山社
上野
光西寺

津田松原
八幡宮
常楽坊
加茂明神
實相寺
光西寺
觀音堂
實相寺
觀音堂

其二
雨嶽山
古城跡
八幡宮
常楽坊


白口山

安藝守柱東郡皆川徳用先生小碑 [illegible]

所[illegible]

栞林碑

東讃津田邑人安藝栄柱使其子栄尚來謁問予曰驪之姬適晉而得稱為美姬西施之在苧羅未可得其美稱耶予曰奚為其然雖在驪苧羅固亦天下之美耶曰有美玉於斯比之千璧其厚倍焉然妃連城之價則不可得以相値耶曰奚為其言之以若是也其厚倍則價亦當倍也已奚栄尚於是乃称曰我邑南有八幡祠廟祠東松林長三里余其勢逶連東南而前抵於海其松樹無慮數千株狀皆奇詭白砂緑蕉雖画不娟也清風入之声有似栞奏因稱之曰栞林夫播之妓濱以其當孔道故特聞而栞林以地稍僻故雖其景致勝於彼而不得世稱豈非美玉厚倍而讓於千璧驪姬西施以在鄙而以埋其國色乎僕父子以生居其林側心常竊慍其未得顯聞今所以來謁者意欲得先生之華而以播其勝於四方願勿為吝也余曰果如子夫周行相依者於我身之勝具而不能遍遊然苟有遊則欲探

奇搜祕以扶摘世所未知者今於予所言雖未能躬造而先獲其二焉典於是乎乃為之記

享和元年辛酉冬十二月廿八日　平安　皆川愿撰并書

津田浦題千古庵

僧海量迫江人

津田浦上故人搜勝景能令飛錫留十里松原當戶緑無辺湖水映簾流北天漂渺播山遠東畔蒼茫洲島浮明月清風看不尽尋盟幾度此來遊

津田松原

谷本薫本藩儒医故

雨深松林翠窱晴玉砂縹緲夕陽明不識何人能寫出吟筇十里画中行

今

平景惇藩孟集撰者父

十里青松一張棄盤根交錯断紋深晨昏天籟調吉律千古無人知此音

今

久家朗藩暢斉本藩儒員

幾樹青松遶浦栽蟠根偃蹇白沙隈要聞栞韻天然妙却被潮声攪煞來

[illegible]

秀業撰者祖父

[illegible]千ぬ おとえ[illegible]

まつ[illegible]や扇を[illegible]ふ[illegible]ひあけ　　芝園

古道四友菴

加茂大明神　日下にあり　社伝常宋坊　○十三塚　日下にあり　往古の田村の事ト云々

等利寺　日下にあり　明医山七寺院

南寺　天平六年九月月所[illegible]　本尊薬師如来　行基大士作

享保年中まで訪ふ病者[illegible]

光西寺　日下にあり　一向宗　本尊阿弥陀如来　[illegible]

南寺ハ東義坊とゝ[illegible]坊村[illegible]

門[illegible]今の[illegible]

中兵[illegible]十九年寺号[illegible]

寶相寺　日下にあり　自然山十輪院　本尊地蔵菩薩　行基大士作

南寺ハ天平[illegible]年二月行基[illegible]

[illegible]

二ノ　廿四

天満宮　日下川辺　社伝実否　○龍王社　日下羽立ノ　社伝同上

観音堂　日下にあり　聖観音　[illegible]

[illegible]田山古墳　門の[illegible]

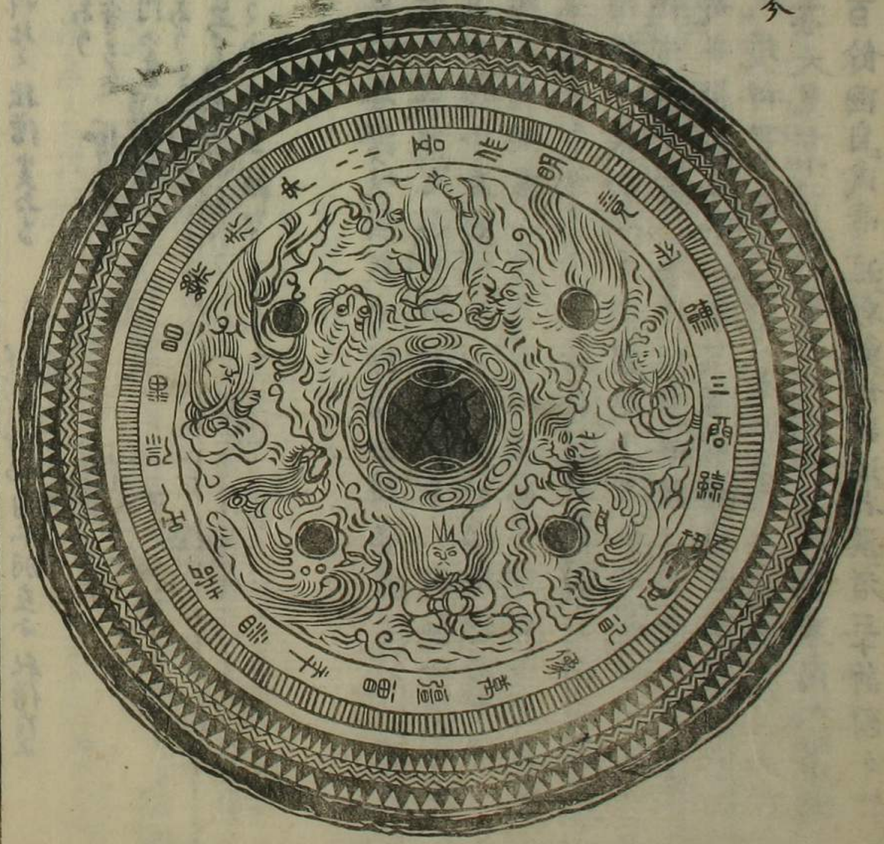
古鏡記

文化六年己巳春讃岐國寒川郡津田村南羽立尻岩崎山之岑有古墳村夫誤穿之得一石櫛疊石方一丈餘中安石櫃以全石造之其状類今肩輿以全石為蓋皆彫琢制造其中一男一女挾以殉之其側有一壺蓋以此鏡壺中必有曲玉矛村夫驚取此鏡出示人皆云是必往昔貴族之墓叢之必有崇埋其穿穴奉者清酌之奠祈謝乞其鏡径五寸八分厚三分重二百七十錢背面有銘小篆也吾作明竟幽練三百續礼道配像萬疆曾年益壽子孫番昌樂未央漢鏡無疑諸國所稀得往々如此世謂之神代墳神世々遯矣國史秦始皇帝遣徐福求長生不死藥當我孝霊天皇七十二年漢書東夷列傳倭在韓東南大海中依山島為居凡百餘国自武帝滅朝鮮使譯通於漢者三十許国々皆得

古鏡圖

經五寸八分
厚三分

吾作明竟
函練三百
續禮道配
像萬疆曾
年益壽子
孫番昌樂
未央



王世々傳統其大倭王居耶馬臺國天明四年甲辰二月筑前
國那珂郡志賀嶋堀出金印一顆蛇鈕文曰漢倭奴国王印漢
寸當我七分強依是觀之国人通漢土其證明矣魏志倭人傳景初二
年六月倭女王遣大夫難升米等詣郡求詣天子朝獻太守劉
夏遣吏將送詣京都其年十二月詔書報倭女王曰制詔親魏
倭王卑弥呼帶刀太守劉夏遣使送汝大夫難升米次使都市
牛利奉汝所献男生口四人女生口六人班布二匹二丈以到
汝所在踰遠乃遣使貢献是汝之忠孝我甚哀汝今以汝為親
魏倭王假金印紫綬裝封付帶方太守假授汝其綏撫種人勉
為孝順汝來使難升米牛利涉遠道路勤労今以難升米為率
善中郎將牛利為率善校尉假銀印青紱引見労賜遣還今以
絳地交龍錦五匹絳地縐粟罽十張蒨絳五十匹荅汝所献貢
直又特賜汝紺地句文錦三匹細斑華罽五張白絹五十匹金
八両五尺刀二口銅鏡百枚真珠鉛丹各五十斤皆裝封付難
升米牛利還到録受悉可以示海国中人使知国家哀汝故鄭
重賜汝好物也是時當我　神功皇后摂政三十九年也卑弥
呼者姫子訓彼土人填字今曰銅鏡百枚使国人知竟吾国此
鏡制造不凡　神功皇后領諸造亦未可知并録以俟後考

天保三壬辰年二月

藍渠平景惇識　本藩士 撰者父

古後乃ちくし
美のくつてをれく中ふ〻ふ〻ふ〻

[illegible]

人々[illegible]神もまつる[illegible]

[illegible]

[illegible]

延喜式内
神前神社
八幡宮
寶善寺
春日社
菅神社

右井拾宣

八幡宮

右井拾宣

蓮井氏女

[illegible]

同境内に[illegible]

[illegible]

同所 境内に[illegible]

[illegible]

[illegible]

浄蓮庵 日不蔵尊

志多張神社 延喜式二十四座の一
祭神 下春命
社人 景作氏
社領 西光寺
郡内十四社指起
山さくら 梢のさくらも老くたりぬ乃社のあさとあらしの山さくら 坂上道啓

南社ゝ天長元年六月勅使なり天正年中兵乱かゝ生後再興せしなり

長福寺 日蓮とあり 千手観世音
本尊千手観音 組士 畏仏つ天正勅願

南寺の弘法大師建立なり九重一大の方ゝ南ゝと建く記者僧侶を安置せしの四紀
法儀所跡 日蓮とあり 法儀所跡
仲宗 日蓮とあり 仲宗
○ 某所堂 日蓮とあり 法人歩仏とゝ上の傷とゝ
経の洞 日蓮中部村
○ 釈尊堂 日蓮とあり 釈尊堂
八幡宮 日蓮とあり 社人影作氏 ○ 本地堂 境内とあり 本土 長武寺明神 菩提寺 弁才天

王子社
神牛堂
舍宮
神馬堂
末社
神門

鴨部村
八幡宮
西光寺
本地堂
庫裏
鐘楼
社家
御塚門

南社ハ承平六年八月勅造ナリ　後ニ川太郎光重再興セリ

王子權現　相傳

西光寺　口訣ニアリ　葉山安楽院末寺

本尊　阿彌陀如來　安阿彌　法華社　天慶元年

南寺ハ天長六年卅創ナリ

蓮住寺　口訣ニアリ　横瀬山ト号ス　一向宗　浄土東光寺末寺　本尊阿彌陀如來　運慶作　加上人筆

南寺ハ天文元年今ヨリ十前光長入道光長ト汝州創ヒラ

鴨ノ城跡　口訣ニ鴨山ニアリ　鴨ノ城ヲ築ク　小野小町ノ墓アリ　鴨ノ中郷村ニ今ノ地ニ移ル

西方寺　口訣ニ方村ニアリ　東光山安楽院末寺　本尊阿彌陀如來　恵心僧都作　不動明王　口作　法華社　法華大　拾沢

業師堂　山根ニアリ　釈迦堂　社ニアリ

南寺ハ承暦二年革創アリ　鴨ノ中郷村ニ今ノ地ニ移ル

大津山牧馬　口訣ニアリ　海ニ出ル　組若原英公家ヲ牧ニ牧ニ出ル

薬師堂　口訣ニアリ　西光寺末寺

菅神社　小田村ニアリ　社人吉田氏　元亨元九月廿五日社傳西光寺ル　新宮堂　境内ニアリ

南社ハ延喜二年十月勅造ナリ

馬蹄權現　口訣ニアリ　六月廿日　本地　新宮

志度浦　五の浦　又高屋ニ　多ク口訣ニアリ　海ニ出ル

万葉集　吾意妹　相佐受　玉浦丹　衣敷一　鴨将寐

今　自荒磯毛　益而思哉　玉之浦離　小嶋夢石見

屬物　発思歌

安佐散　禮婆伊毛我手　爾麻久可我　美奈須美津　鉏波麻

備爾於保夫　祢爾真可治　之自貫可良　久尓尓和　多理由

多也伊未米曽祢許尤左豆久等追我禮許妣加
於流毛之豆能乎己比乎礼女和已婆藝伎武
伎都尓奈波未許呂由世婆波多許久豆由等
都可也可麻尓藝奈気年安小都呂毛和気多
流比良由倫見和具婆等之船美安為多婆太
可奈年和欲都我也伊船辨乗能可可禮於年
毛家爭多里追宇須気波之毛波良敝宇奴伎爾美
礼比都宇須凝婆夜麻鹿多良敝宇乎良尤毛波奴
婆里美良伊蘇由伎伎伎久毛奈宇見爾欲故之面
毛比能伊麻乎多都豆毛許伎家礼布布爾良乎
杼素伎見麻奈美為恵和里婆禰氣安奈尤
毛豆能都能美年尓欲多安伊爭豆波美指
之爾多追宇多等美妣流香射宋由治多天
留波麻奈良可於延呉安爭理豆久乃可之
思伊乎久尓久毛奴保尤吉須宇敝之美保
乎礼伊古布多比安等奈能流伎乎麻宇麻
奈豆敝奈祢知豆我里藝之安祢之波良知
美可都須乎伎於毛能爾保麻乎良由未豆
爭敝加祢爭奴保敝流豆奈知乎都安左理乎
夫尓能杼与世伎豆於

反歌

多麻能宇良能
伎都流見流比
安伎尤良婆和
安伎尤良婆和
家礼於伎都之
伎都之良奈美

多麻比利敝礼杼麻多曽於
能於伎都之良多麻比利敝礼杼麻多曽於
能宇良能流比爭乎奈美
我布禰波豆年和須礼我比与世伎豆於

玉のうらに征伐国の津守らが年の経ぬれば妻も子もあれかもなしと思ひつつ海辺を行くに白浪の高き浦わを漕ぎ行くに海の中ゆ神の御使の現しかもかくのみしからばすべなかるらむ

玉の浦に沖つ白波立ちくるしかのみしからばすべなかるらむ

夫木集

今　玉の浦に沖つ白波立ちくるしかのみしからばすべなかるらむ

今　小岩の沙乃ろふ玉の浦乃なみ　玉　和

南海国式　ゆくさやたをとろふそうの玉の敷をつ唐崎の入えくのまれ乃村くら　行基菩薩

大約の忠歌　衣笠内大臣

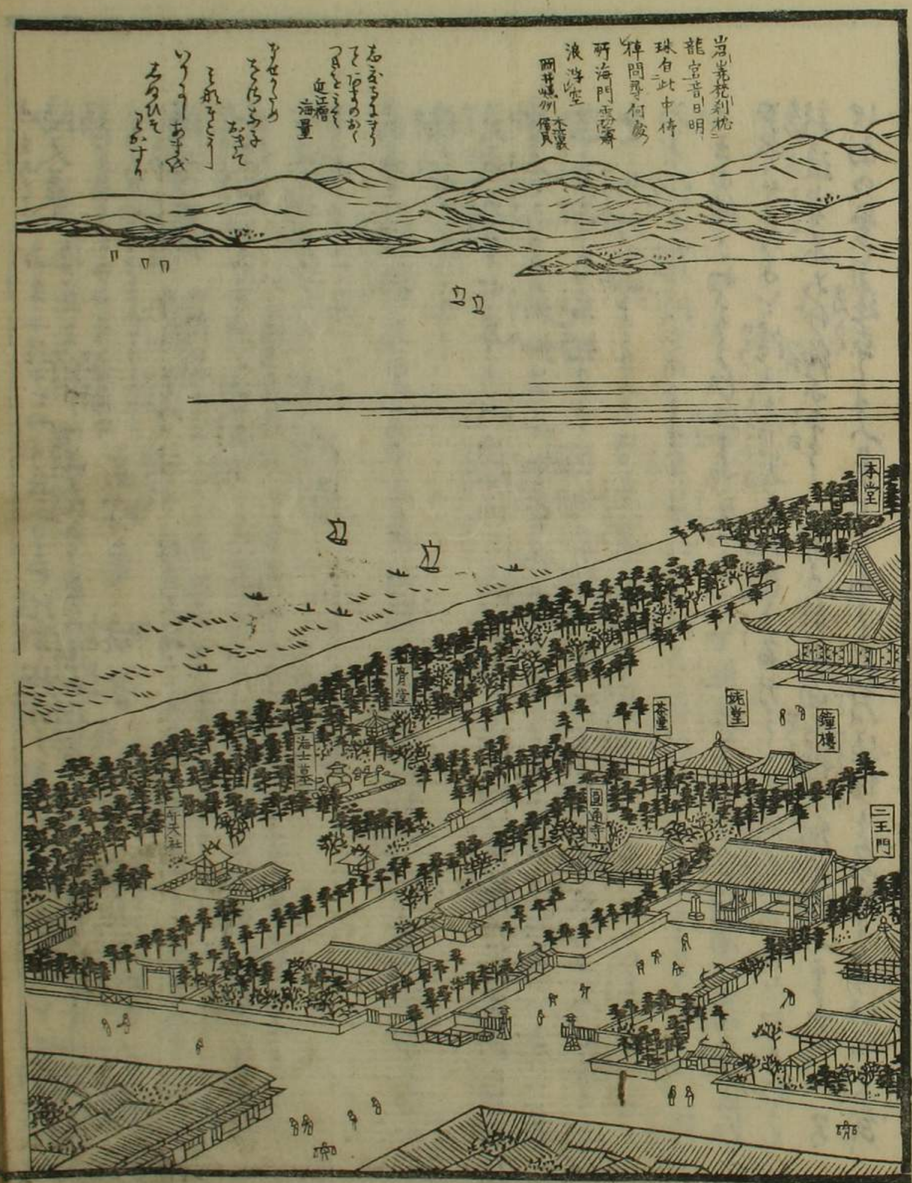
作者未詳　日蓮人

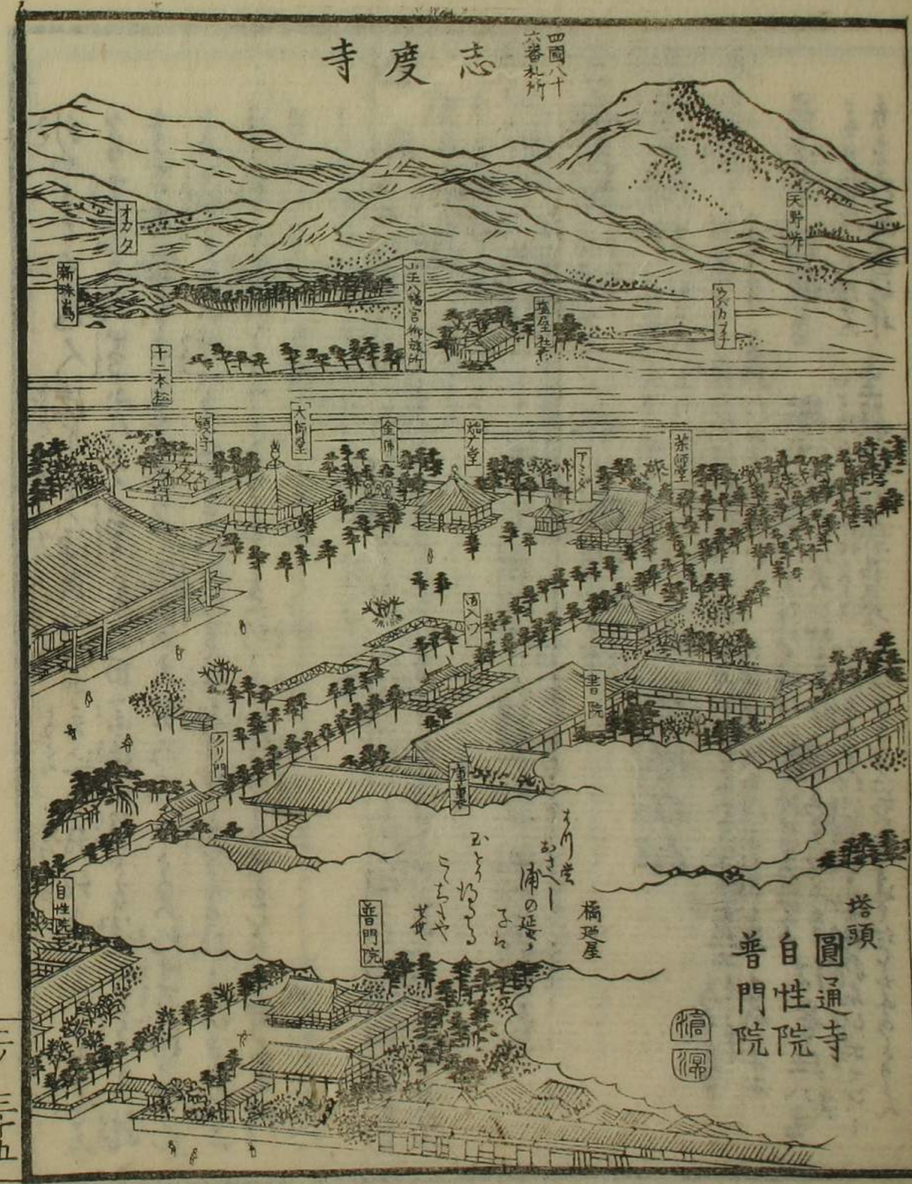
八栗屋寺　志度晩鐘　高照嵐　恵比寿の山　極楽夕照　神池群蛍　津村牧笛　珠嶋秋月　八浦漁舟　屋嶋雪　東汀白鷺　海士野夜雨

志度浦合戦　太

寿永元年二月廿一日乙亥平家義経千騎ヲ以テ讃岐国志度浦ヲ攻ル　延慶元年二月十日兵部卿平氏家人因幡左衛門尉帰伏千廷尉ヲ以テ　平家物語云　八十余艘志度浦ヘ漕寄テ　平家ハ　源氏ハ小勢ナリケレバ中々ニ

汐やとそ千條人　法ふよろ源氏とゆふ云ふ　我れ計とゝんぬ　ぞとゝ
ゆるまちかぐふ八岩ふ乃ちろ　宮ふ二百余騎の勢ども　後もとろ　紙
きろろ平家ろとそとそあやや　源氏の大勢乃つぎろろ　紅千万流ろわん
ろろ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ


本山堂
二王門
鐘楼
茶堂


志度寺
四國八十六番札所
天野原
十二本松
大師堂
金堂
茶堂
書院
庫裏
自性院
普門院
橋廻屋
塔頭
圓通寺
自性院
普門院

海人墓　毎年十月十七日より廿三日まで供華絶ず墓六古石塔それなりと国紀君
墓と云ふ[illegible]原英云[illegible]毎年[illegible]墓の傍に絶ず一双あり[illegible]
墓の奉仰しまつりて[illegible]原英云[illegible]

綉像大佛　[illegible]　姥堂　[illegible]　[illegible]　骨堂

山伏石　[illegible]

摂待堂　二王門　今剛力士

南寺は継體天皇三十三年出花ふ国ふ尼智法人者建立す〻

天武天皇七年の法隆寺造立まします仏像は唐の名
手今堂の釈迦尊像は聖徳太子追福のため奥州
宗皇帝乃后妃〻面向不背の玉四隅石花原磨名文追福の
免　[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

讃及路志度道場燈感光院乃海岸孤絶之處観音霊感之地也推古天皇三十七年補陀大工変身為工來自造聖像桓武帝延暦元年玲閣羅国王詫人以建梵宇故山鶴補陀落伝玲羅氏香火矣爾來一千餘歳寺廃燬者數矣按寺故事其將起廃也必先有人暴死入冥中見王王命之以寺支蕪生之後募財十方又復旧観也大亭以為常矣寺之東西架両堂以安王像取義双王者耶昔有苧萠尼彌阿不知何処人結草寺側而居堅持毘尼專念弥陀人皆異之一夕無病気絶信宿而蘇曰吾到冥府王見喜曰汝命未尽當返本国為我於志度道場東偏規地構堂而刻某我長之像安之是我所望汝也仍自以量其身示弥阿々々拜而受命於是如夢寤而蘇矣輒傾赤心戸告家募見者聞者靡不楽施堂成于旦夕如王言焉所謂東閻魔堂是也堂中安王及地蔵薩陀泰山府君俱生神等也斉中以玲羅為観音應化者有焉可并按蓋三即一豈異身乎又玲羅在當來為三界導師号普王如來孰不敬哉文明十一年十月十八日畢方為崇慶瓦朱甍二十餘宇食頂灰烬矣東堂其一也凡草創以來火于寺者六而東堂羅火者三于茲矣経曰閻羅宮殿百宝莊嚴一日之中三変火々

熾由是觀之今東堂三火抑亦有以或蓋示衆生界成壞有數也夫本寺之宜先者東堂為最也雖然寺典恒産費用多為之奈何小比丘朝叫謹持短疏遍招大小檀門廣幾各割力以成就勝縁則一滴之錢変成現在福海未來佛果海者也詞曰

三韓雲迩古觀音居日本室陀四及月明大願王遊僧耳地獄
將八寒八熱元來十地十身拜於羅老於御史臺活棒飛雨署
恭山君於尚書令刑筆生風佛後誤問宣室鬼神人問坐致冥
府官爵梁武設六道之祭人趣黄珠天趣白珠歐公入十王之
宮善支金簿悪支銭簿既見俱生神傳命其奈孔方兄絶交涅
槃失猛文等失寛擅越七迦葉從貧善現從富布施三輪

文明十四年三月吉辰　　幹縁比丘朝叫稽首

寶物○丈大尊　弘法大師作　観音経三十三巻　十一面観音　弘法大師像　自作　釈迦三尊　十一面観音　弘法大師作　阿弥陀　天平年中作　綱敷天神　菅原道真作　辯才天　弘法大師作　白衣観音　弘法大師作　宝塔一軸

源義経之附書　備前国山田荘　十一面観音　弘法大師作
源英之　八祖御歌　御衣本縁起　法海之支仏臺記　相良宗
白杖帝子紀　當願寺縁起　阿一入道記　相良正
義経之義経之山寺附の山寺書木彫多あり　土佐之紀入の
拝之之系図之系図　今僅一を存せり

當寺所蔵文書

讃岐國志度寺古寺沿革　慶代王氏寺十一面観音利生霊場也
而南寺院之別当職御下寺勢半力衰代如新職而
南紀行和書之者紀行之理尚之仁速安堵本職之了　紀
地行録忠勅者也仍下知件
文治二年丙月十三日　　頼朝判

尾張国都別当法印御坊中宛

室蔵院所蔵文書

讃陽志度寺共雖乾坤相之味為二戸郷内上段畠宗于為極
東寺寺号者也　天文年中仍表達状
寛平元年三月九日　　左少辯信清　押
志寺四ヶ寺院之寺

圓通寺　日所博門にあり　本尊聖観音　慈覚大師作
去言京日本寺
自性院　日上　本尊弥陀如来　石知明王　弘法大師作
普門院　日上　本尊大日如来　毘沙門天女　弘法大師作

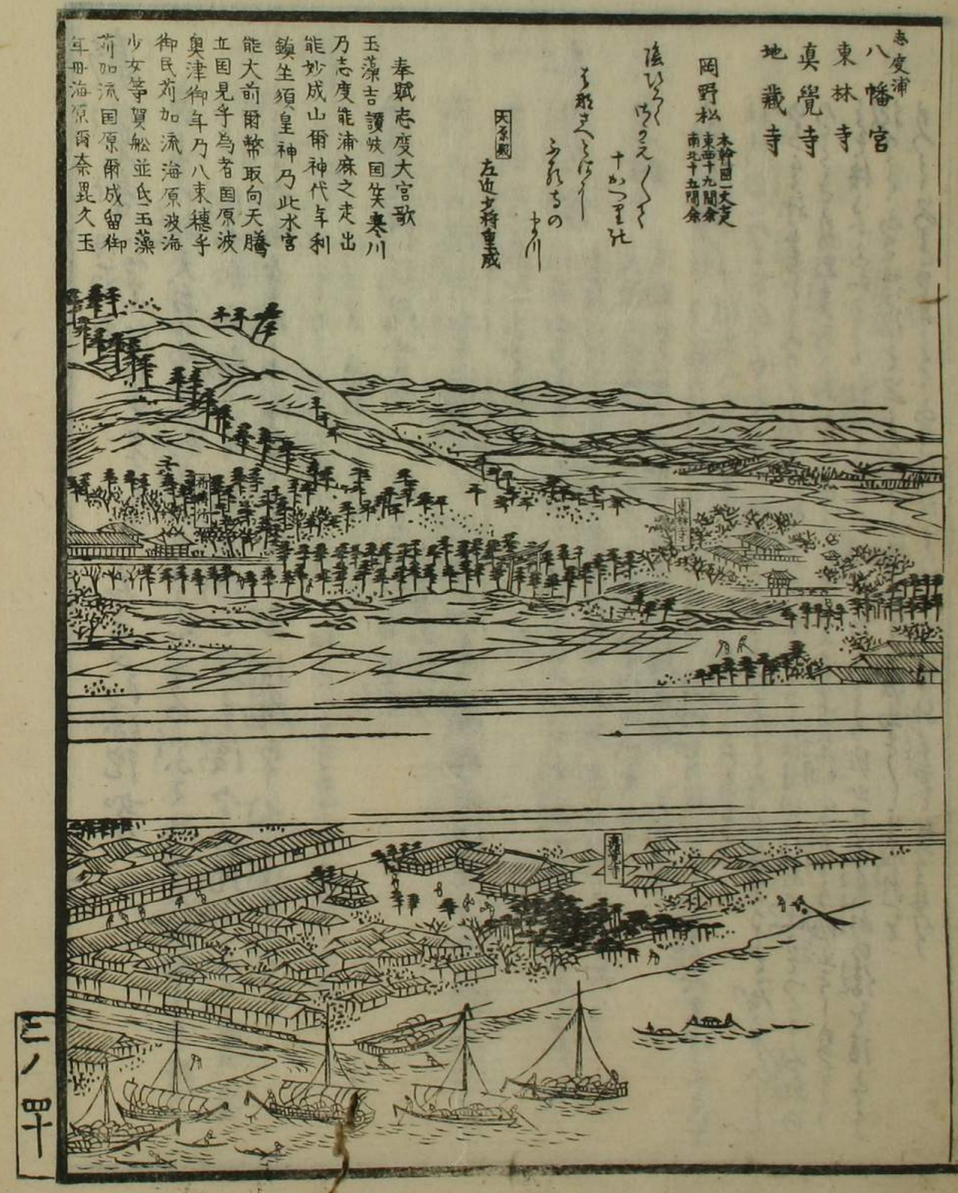
ここ七ケ寺　弘基寺普門竹刹なり

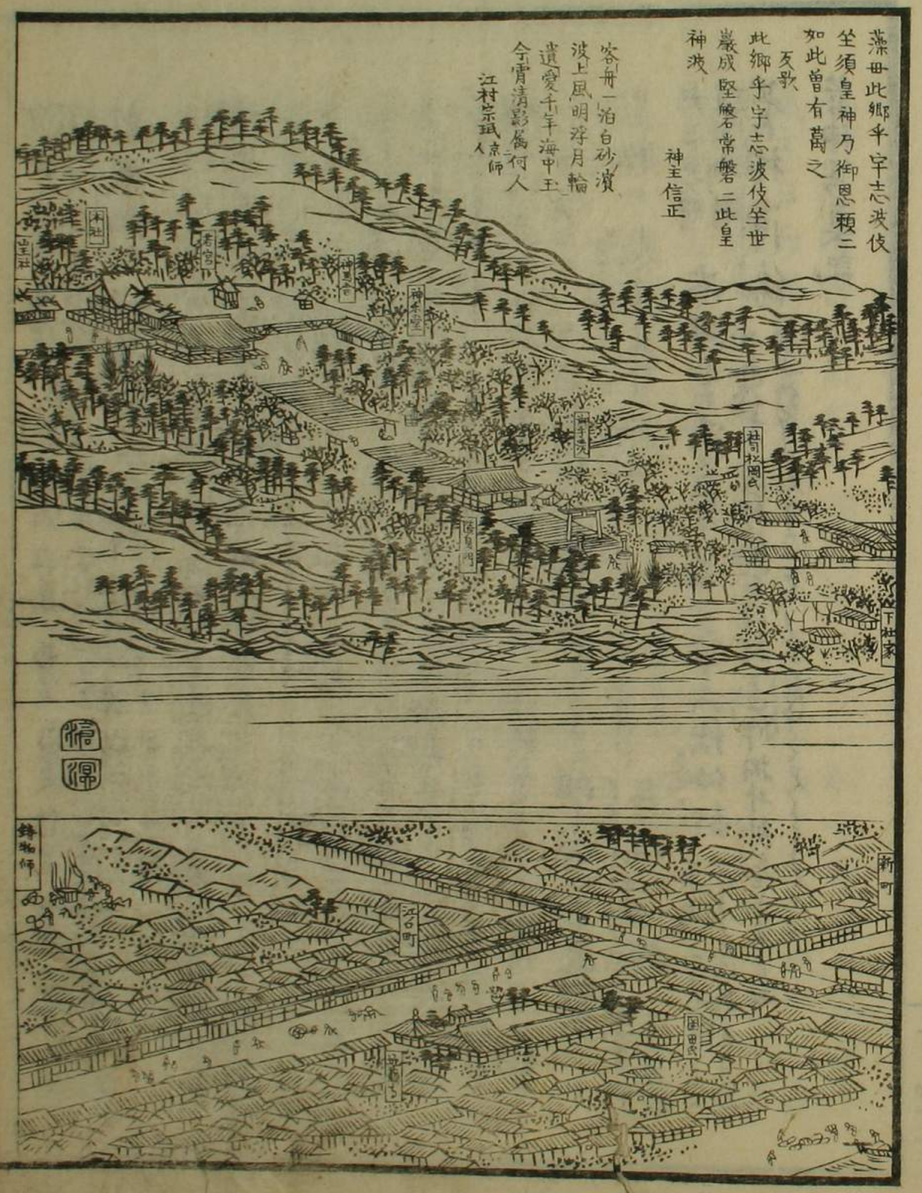
辨才天社　日西にあり　社伝志度寺の鎮守　九月七日
志度堂跡　日下にあり　寺号山堂寺　今和泉屋敷となり
蛭子社　紅の明国御　今屋敷内　中度明こ二ケ所にあり　○稲荷の社　日示にあり　九月十四日
梅宮　日所川にあり　氏社司日上　八月十八日
乃紀神　新所にあり
運照菴　日西田中にあり　真言宗　本尊聖観音
地蔵寺　日示にあり　真言宗　志度寺末
南寺八仏古国尼在りて知なり　享保十四年本堂小修造す
雲面数　日示にあり

真覚寺　日下にあり　一向宗　阿弥陀如来　本尊弥陀如来
南寺八和天台宗にて元弘小あり　今の宗に改め大内新さうけり
ここに本願小移りて新発坊と云ふ後今の地に移り安
八年今の寺号に改む境内に名松樹あり宗の松なり
東林寺　日下にあり　浄土宗　和泉院末寺　邦内四ケ寺の内寺代五十石
本尊阿弥陀如来　紹士　親鸞聖人　光安弥作
南寺八国御堂の四坊を延宴四年　国祖君源英公御再興ありて
寺領四十石と云ふ

志度大宮　日西山王にあり　氏社司　氏社数二人　神主一人
氏紀八月十九日　名紀氏六月四日　志度　末吉村の産土神なり
乗神　天照大市神　常中日の命　建秋津比賣命
大納和吉宮　自然常比賣命　操建命　大雷命

山王神祠　社伝曰ここに桂現とて人ありしが社司の命にて桂社と云ふ
のち年代を経て桂ありしが社司日神社の社のつくり人れの
ひとりきりの松ありねけたるを天皇の御
桂ありしが桂現とて桂出でしものなり
りつくりの年号の山王桂現と称す


志度浦
八幡宮
東林寺
真覺寺
地藏寺
岡野松
本幹圓二丈五尺
東西十九間余
南北十五間余
天保國
左近少將重成
奉獻志度大宮歌
玉藻吉讃岐国笑寒川
乃志度能浦麻之走出
能妙成山爾神代年利
鎮坐須皇神乃此水宮
能大前爾幣取向天騰
立国見乎為者国原波
奥津御年乃八束穂乎
御民苅加流海原波海
少女等賀船並氐玉藻
苅加流国原爾成留御
年冊海原爾奈毘久玉


藻冊此郷乎宇志波伎
坐須皇神乃御恩頼二
如此曽有蔭之
反歌
此郷乎宇志波伎坐世
巌成堅磐常磐二此皇
神波
神主信正
客冊一泊白砂濱
波上風明浮月輪
遺愛千年海中玉
今宵清影屬何人
江村宗武京師人
信濃

[illegible]社　住吉大神
[illegible]良大神　[illegible]社　[illegible]尾　[illegible]尾　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
神楽所　神馬所　宝蔵　随身門　[illegible]

社紀曰此者[illegible]の浦乃滿て天照大神遠秋津洲[illegible]命
優遊[illegible]三柱大神を[illegible]て地名をとりて社号とせ[illegible]
辛巳八幡大神とおなじ[illegible]
八幡宮[illegible]
[illegible]
[illegible]

可休聴之則維肖仰之則彌高卓犖炳然匪　神自寫其真
則誰能為之耶惟兄所欲在于茲投彼拳懷之像投之毫髮
無差休友奇生方怪遂洛聞彈咨両人擊節歎賞繇斯使可
休傳送同八月三日到兄学庠此秋猟日也兄大喜再拜
受之巾笥蔵之也然充今茲九歳聰健踰于尋常人矣所謂
肉骨使免擣于溝壑者寔　神賜也嗟乎黄髪鮐背寿胥典
試不蔡而卜福孰大焉書曰至誠感神傳曰神所憑依在德
兵兄夫負德擔誠者也余雖未見其人嘗典有聞焉己未夏
讃城菊地武賢列這箇事請文於余聿闡係難拒敢不以皷
吹執所告為之記兄氏桐井名澄字玄叔又号丹山其先禄
讃候居高府至兄迺父解印綬帰去來於志度地云

元文四己未載夏五月二十五日

正二位前大府卿仲子清原忠陳撰筆於京兆錦天神旁舎

雲芝寺

西未村東林山遍照光院　寺記百ム

律宗　無本寺　寺号　祝迦牟尼　畏沙門天二尊　聖徳太子像　不動明王　弘法大師作　多仲麻呂作

開山名　仲代　尊牌　獻青堂　十一面観音　弘法大師作　縁起　夏無佐集

三十三身像

ム　十王堂　地蔵菩薩十王十所　奈良法華寺　小野篁作

納ム　法寺社　三尼　春日大明神　姫山田郡久米寺　地蔵文殊

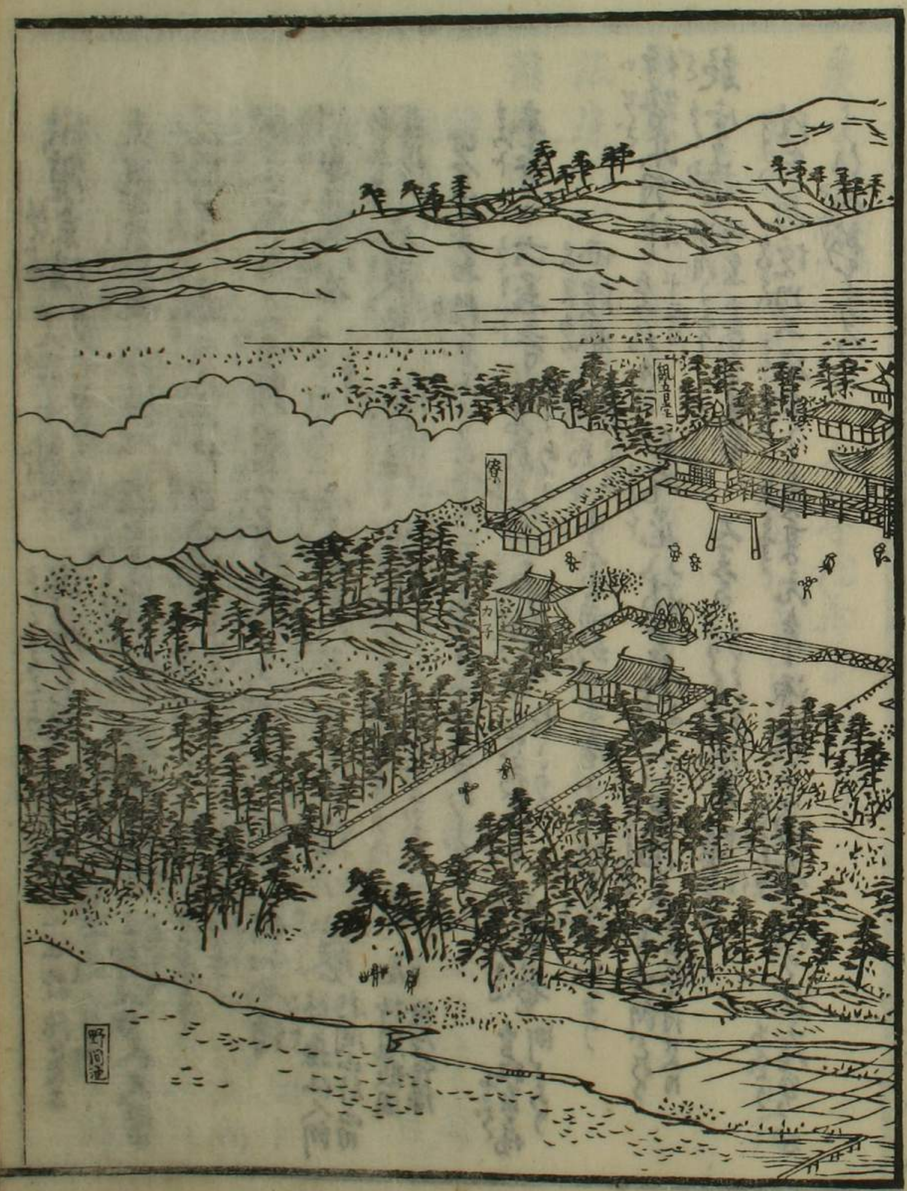
本地　秋篠寺　弘法大師作

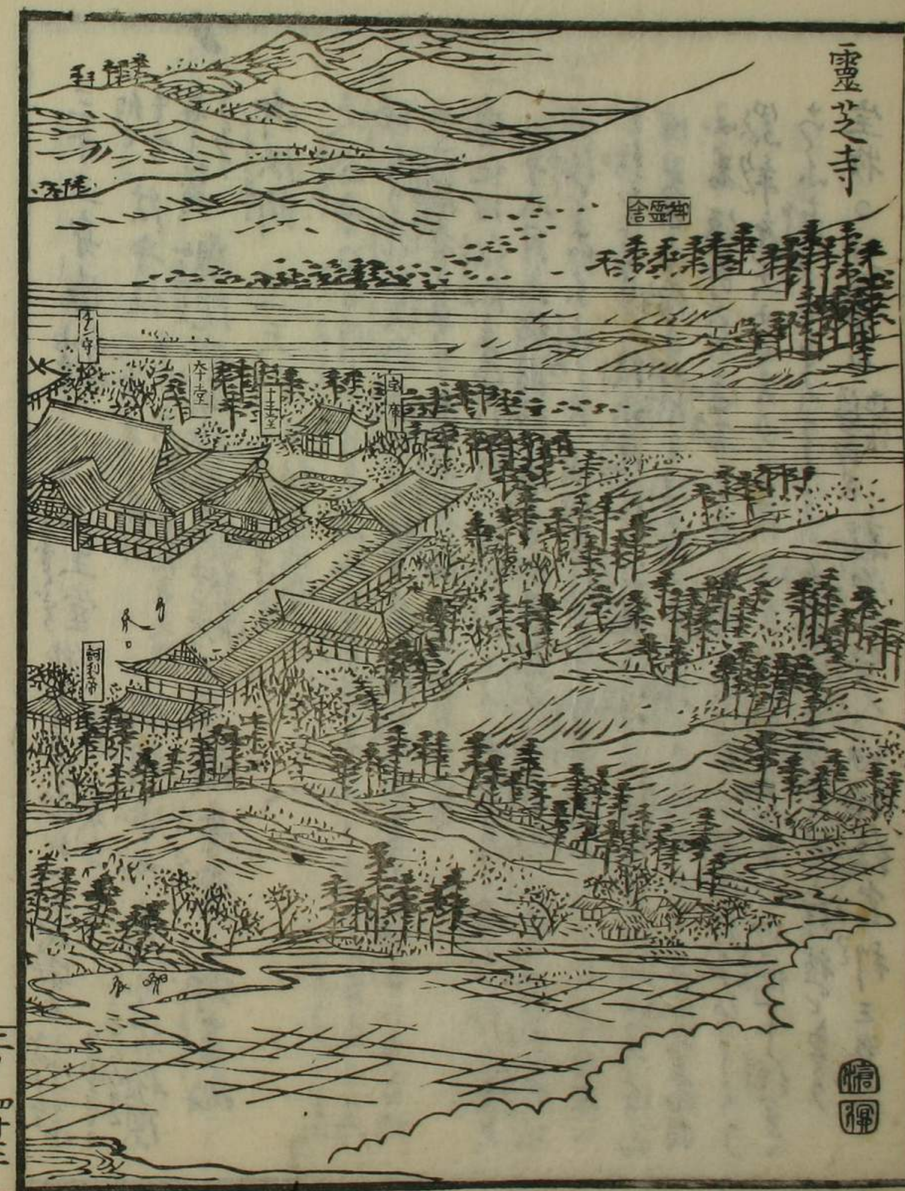
安置　境内　奥院求聞持堂　運慶作

仏供所　二天門

吉祥天　弘法大師作

南寺八多律宗ムム法山の系勢ムあづかり一山惣ての石
坊なり元皇都と称する南都南寺と南寺なり日内
山大国寺と号す遍照光院ハ右名なり下略
寺記曰弘仁年中弘法大師なり天平年中行基ふかく帰文
二年八月山城国神護寺別院桂尾平等寺と院の僧恵忠比
丘湯をもちふ上ぶ　国祖　君伝英云　堂宇再興なりしとも恵ハ
和歌とりて　後水尾院　敕願寺　渡わたりて
源英云も源く名聞く　帰依しまひ　の場ハ　あり　寺ハ
ム云　法郎云の主　希　横墓　ちふ　墓　ひ
黒羊　虎　天ふ　なり　原　慈云　先　墓の　御例　
ちふ　寺　寺の　事ハ　法　弟
宝物。地蔵尊　法郎云　新造唐至人像　自　仏書村　三社




靈芝寺

檝楫宮殿 十八顆 十八羅漢 彫刻 赤梅檀 獅子 百八顆 内上三尊 仏菩薩像 度敬の書所

天満宮神鏡 [illegible] 涅槃像 土佐筆 釈迦羅漢 之軸 張良 文大学

石動寺 春日文殊 地蔓荼羅 無仏法大師筆 十二天 十二幅 伝山水筆

法見観音 賓頭盧尊者 大黒天 一金像 一体和尚像

仁寿門品 水戸黄門公 明恵上人 之一軸 [illegible] 仙聖 [illegible] 仙人所持用 [illegible]

[illegible] 文殊 [illegible] 現一面 [illegible]

[illegible]

末寺 ○六条寺 三条[illegible]承元年[illegible] 玉泉庵 三条[illegible]村 [illegible] 日蓮庵 [illegible]町

西[illegible]庵 [illegible]

[illegible]明神 十二月 ○九尾八幡宮 [illegible]

[illegible]庵 [illegible] 寺号

[illegible]名南坊内ふ[illegible]多〻良元年源英公南庵、八のひ尾寺か

[illegible]山[illegible]

亀甲山 [illegible] 寺号地蔵尊 [illegible]大 [illegible]作

[illegible]庵 [illegible] 寺号地蔵尊

[illegible]なるを[illegible]永元年寺の[illegible]門玉園

[illegible]

見松庵 [illegible] [illegible] 寺号地蔵尊

法寺明神 [illegible] ○[illegible]宮八幡宮 [illegible]

韓鐵師 [illegible]毛人 韓鐵師 [illegible]牛養

讃日本紀曰景雲元年二月讃岐国寒川郡人外正八位下韓鐵師毗登毛人韓鐵師部牛養等一百二十七人賜姓坂本日

凡直千継

同書曰延暦十年九月丙子讃岐国寒川郡人正六位凡直千継等言千継等先星直譯語田朝廷御世継国造之業嘗取部之堺於是因官命氏賜紗拔大押直之姓而庚午年之籍改大押字仍注凡直是以星直之裔或為凡直方今聖朝仁均雲雨恵及昆虫當此明時異照覆冠諸因先祖之業賜讃岐之姓勅千継等戸二十一烟依請賜之

佐婆部首牛養

同書曰同年十二月丙申讃岐国寒川郡人外従五位下佐婆部首牛養等言牛養先祖出自紀田鳥宿禰之孫米多臣難波高津宮御宇天皇御世従周芳国遷讃岐国然後遂為佐婆部首今牛養幸籍恩來獲免負擔雲雨之施更無所望但左官命氏因土賜姓行諸進古傳之來今其牛養等居處在寒川郡岡田村臣望賜岡田臣之姓於是牛養等戸二十烟依請賜之外従五位下岡田臣牛養為大学博士外従五位下麻田連真淳為助教伊勢介如故従五位下紀朝臣摺継為刑部少輔外五位下清道造岡麻呂等改造賜連姓

讃岐公永直

讃日本後紀曰承和元年春正月戊午授正六位上讃岐公永直外従五位下大判事明法博士如故是年兼勘解由次官同三年三月十九日外従五位下大判事明法博士讃岐公永直右少史兼明法博士同姓永成等合廿八烟改公賜朝臣永直是讃岐国寒川郡人今典山田郡人外従七位上同姓全雄等

二烟改本居貫附右京三條二坊永直遠祖景行天皇第十皇子神櫛王也同八年丁未外従五位下讃岐朝臣永直為兼阿波權掾

文德實録曰斉衡二年二月癸亥外従五位下讃岐朝臣永直為明法博士同三年十一月庚子外従五位下讃岐朝臣永直為大判事明法博士如故

三代實録曰貞觀元年十一月庚午加外従五位下明法博士讃岐朝臣永直従五位下同四年八月癸丑従五位下守大判事兼行明法博士讃岐朝臣永直卒永直者右京人也本姓讃岐公讃岐寒川郡人幼学好讃律令性甚聰明一聽暗誦弘仁六年補明法得業生兼但馬權博士数年之後奉試及第天長七年春為明法博士同年夏為右少史明法博士如故尋轉左少史八年兼勘解由判官承和元年正月授外従五位下大判事明法博士如故是年兼勘解由次官三年賜姓朝臣改本居隷右京職俄而兼出雲權少掾兼阿波權掾十三年法隆寺僧善愷向官告擅越少納言登美真人直名有犯之狀右少辨伴宿禰善男與参議右大辨正躬王等執論差踏善男弁口便佞蒙帝寵遇遂誣正躬王等許容善愷違法之訴免其官爵

先令明法博士等斷正躬等之罪永直畏憚權勢不肯正言然
執律私曲須之義大忤善男之旨嘉祥元年刑部少輔和気朝
臣奇之死大不敬罪當絞詔減死罪一等流伊豆國永直坐奇
之事配流佐渡国二年二月仁明天皇晏駕文德天皇踐祚
明年勅特從恩免徵復本位外從五位下奇衡二年為明法博
士三年老乞骸骨再三陳請然後許之然猶不停明法博士帰
休於家天安二年　文德天皇勅曰明法博士是律令之宗師
也惜其齒在耆耄不傳正說宜令好事諸生就其里舍受讀善
說永真閑卧私舟授律令於生徒式部省就門庭行講竟之禮
法家栄之以寿終焉時年八十永直自為官吏爰及晩節歴任
勘解由次官使判決之道能究其旨為彼使司者今猶為准的
焉嘗大判事典源敏久明法博士額田今人等抄出刑法難義
數十事欲遣問大唐永直聞之自請詳解其義累年凝滞一時
氷釋遣唐之問因斯止矣長子時人傳父業改姓和気朝臣少
女為光孝天皇更衣生源皇子舊鑒

贊岐国名勝圖會巻之二終

无碍菴